

Japan Handball Association



- 日本選手権
- 国民体育大会
- ジャパンオープン
- クラブ選手権
- ブロック大会
- 都道府県大会

- 男子
- 女子
- 一般
- 学生
- 高校生
- 高専
- 中学生
- 小学生
- 少年

## 公式記録用紙

チーム A						チーム B																			
A 三重県			B 大分県																						
都道府県		市区町		会場		観客数		年		月		日		回戦											
茨城県		常総市		水海道総合体育館		300 名		2019		10		7		3位決定戦											
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mスローコンテスト		A	B										
	8	13		16	21		/	/		/	/			/	/										
7m得点/回数		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B		7m得点/回数															
0/2		1 15:5 2 5:4 3 3:3 5 7:3 9			1 16:13 2 3 3			4/4																	
No.	チームA					G	W	Z'	Z''	D	DR	No.	チームB					G	W	Z'	Z''	D	DR		
1	加藤 愛望											1	廣田 美月												
②	古川 瞳					3		/				2	清水 愛果					1							
3	吉田 美月											3	三浦 那月												
4	南川 満帆					3						4	高橋 舞					1							
5	伊東 若葉					3						⑤	後藤 ほたる					4							
6	前川 来夢											6	高橋 唯					5							
7	伊藤 朱里					3						7	山崎 晶												
8	濱田 唯花							/				8	石川 空					6							
9	服部 望愛											9	萩尾 ほのか					4	/						
10	森田 光					3						10	三浦 那有												
11	今谷 琉果					1						11	安東 里紗												
12	前嶋 実里											12	幡東 妃美希												
役員A	蛭川 健司											役員A	滝元 泰昭												
役員B	玉田 浩史											役員B	島村 祐輔												
役員C	橋本 由紀子											役員C	佐々木 隆成												
役員D	寺田 州克											役員D													

A	蛭川 健司	チーム役員A 署名 チーム役員B	滝元 泰昭	B
特記事項				

レフェリー	水野 遼	山田 祐輔	水野 遼	山田 祐輔
TD	雨谷 秀樹	吉井 雅一	雨谷 秀樹	吉井 雅一
JHA オフィシャル	菊田 政行		菊田 政行	

得点(G)、警告(W)、退場(Z)、失格(D)、報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

第74回いきいき茨城ゆめ国体2019

試合結果・戦評報告書

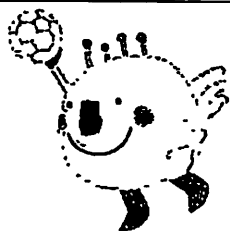
競技日	10月7日(月)	試合番号	D-r	回戦	3位決定戦
種別	少年女子	会場	常総市水海道体育館		
Aチーム名			Bチーム名		
三重県			大分県		
得点合計	小計		小計	得点合計	
16	8	前半	13	21	
	8	後半	8		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

戦評

少年女子3位決定戦は、昨日福岡県と激戦を演じた三重県と、東京都に敗れた大分県の対戦となった。三重県が④南川のサイドシュートで先制する。対する大分県⑥後藤の速攻2連取で反撃する。その後、お互い点を取りあうが、三重県が退場者を出し、流れが大分県に傾く。⑥高橋のミドルシュートやカットイン、②清水のサイドシュートで3点差にする。そこから大分県のスピードある攻撃は止まらず、18分には5対10と点差が開く。三重県も粘りのあるディフェンスからの速攻や、ポストプレーで得点を重ねるが、大分県のディフェンスを崩しきれず、8対13で大分県がリードで前半が終了した。

後半は、三重県がミドルシュートやポストシュートで得点する。さらに⑤伊東のサイドシュート、⑩森田のミドルシュートも決まり、10分に12対14と2点差に迫る。守ってはGK①加藤が好セーブを連発し、流れを引き寄せる。⑪今谷の速攻も決まり、16分には15対16と1点差になって、大分県がタイムアウトを申請する。その後は守りあいが続く、21分までは点差が動かない。均衡を破ったのは大分県。⑧石川のミドルシュートで得点すると、三重県の7mTを⑫幡東がナイスセーブし、さらに得点を重ね、24分には15対19と4点差をつける。そのまま流れは動かず、16対21で大分県が勝利した。両者とも最後まで集中力を切らさない好ゲームとなった。

( 第74回いきいき茨城ゆめ国体2019 少年女子3位決定戦 三重県・大分県 )



記載者氏名	大原・雅広
送信日時	10月7日(月) :
送信者サイン	